



交通ルールの遵守を力強く宣言する久保春汰さん(中央)

自転車マナーアップ 江刈中に指定書交付

岩手警察署および北岩手交通安全協会、町交通安全協議会は、江刈中学校（高橋治校長、生徒26人）を自転車安全利用モデル校に指定し、4月9日同校で指定書を交付しました。

江刈中学校は、昨年度に引き続き2年目の指定。交通ルールの遵守やマナーある行動実践が評価されました。

生徒を代表して久保春汰さん（3年）が「命の尊さや交通事故の重大さを認識し、交通ルールを守ります」と宣言しました。

山火事防止対策協議会 町民の防火意識高める

町山火事防止対策協議会は4月14日、総合センターで国、県、消防機関などの関係者ら19人が出席して開催され、山火事防止の対策を確認しました。

鈴木重男町長は「協議会の活動を通じて多くの町民の山火事防止の意識を高め、山林の保全につなげていきたい」とあいさつ。その後、山火事注意の横断幕を掲げた各分団や関係機関の車両が町内3方向に分かれてパレードを実施し、山火事防止を呼び掛けました。



山火事防止を呼び掛けながらパレードする消防車両

春の交通安全教室 命を守るルール学ぶ

春の交通安全教室は4月9日から23日の間、町内の保育園と小中学校で行われ、交通ルールや自転車の安全な乗り方などを学びました。

4月15日に行われた葛巻小学校（佐々木美江子校長、児童101人）では、岩手警察署葛巻駐在所の上澤富士男所長が「県内でも子どもの交通事故が発生しています。正しい道路の歩き方や横断歩道の渡り方を学び、交通事故に遭わないようにしましょう」とあいさつ。児童らは真剣な表情で交通ルールを学んでいました。



校庭で横断歩道の渡り方を学ぶ児童たち



出店事業者から店内の説明を受ける山本執行役員⑥

トヨタ自動車山本役員 スーパーくずまき視察

4月3日、トヨタ自動車(株)の山本圭司執行役員が本町を訪問し、昨年11月にトヨタグループの支援で小屋瀬地区にオープンした「スーパーくずまき」を視察しました。

山本執行役員は、買い物客でにぎわう店内を見学した後、注文を受けた商品の配達にも同行し「地域に頼りにされていることが実感できた。自動車メーカーの責務として、今後もモビリティに関連し人々の暮らしを助けていきたい」と語りました。

山地酪農研修センター 決意新たに3人が入所

町山地酪農研修センターの入所式は4月6日、くずまき交流館プラトーで行われ、3人が第42期生として入所しました。

鈴木重男町長は「学問に勝る経験をしながら、将来『食』に関係する仕事をしてもらいたいと願っている。それぞれの夢や希望が叶うよう、のびのびと研修に励んでもらいたい」とあいさつ。研修生を代表して白戸夏美さん（盛岡市出身）が「食糧生産に対しての広い視野と識見を身に付けます」と誓いの言葉を述べました。



第42期研修生の皆さん（左から白戸夏美さん、太田代歩柚さん、白椏俊さん）

写真が会話のきっかけ 「みんなの話」が傾聴普及

みんなの話（柴田幸栄代表、会員19人）は3月19日、養護老人ホーム葛葉荘の入所者にメッセージを添えたフォトフレームを贈りました。

柴田代表は「入所者の皆さんが、それぞれの思い出の写真を入れて部屋に飾り、一つの写真を会話のきっかけにして、交流の輪を広げてほしいです」と思いを寄せていました。

同会は、傾聴スキルを積んだボランティアで構成されており、地域の傾聴活動や自殺予防の普及啓発活動を行っています。



フォトフレームにメッセージを添える会員のみなさん